

こんにちは！千田みつ子です

介護保険、医師確保、TPP問題で懇談

日本共産党県議団と奥州市議団が
胆沢病院・特養・JA等を訪問

9月26日と28日、日本共産党の千田美津子・斉藤信・高田一郎の3名の県議団と、今野裕文・及川善男・菅原明・千葉敦の市議団が県立胆沢病院等を訪問し、懇談しました。胆沢病院では、勝又院長、小野寺総看護師長と懇談。院長は、「市内の開業医が産科を取りやめたことで、県南の周産期医療は崩壊している。里帰り出産は全く出来ない。」「東北大は、産婦人科医師を中部病院に集約することで、県南の周産期医療が崩壊している。小児科も不足している」「達増知事の国に対する医師の適正配置の提案と厚生労働省の動きに期待している」等と述べました。



胆沢病院で勝又院長などと懇談

小野寺総看護師長は、「看護師の確保はギリギリであり、せめて年休が取れる体制が欲しい」と話しました。

TPP批准阻止の取り組みをしていきたい！

岩手ふるさと農協では、千葉代表理事長などと懇談。

千葉理事長は「今、コメの輸入価格偽造問題が取りざたされているが、TPP批准阻止の取り組みをしていきたい」などと語りました。江刺農協では、小澤隆一組合長等からTPPの影響等について話を聞きました。小澤組合長は、「TPPは批准して欲しくない。輸出も採算が合わない」などと語りました。



岩手ふるさと農協で懇談

介護報酬削減の影響が深刻

特養ホーム立生苑では、

大沼一裕施設長、村上和子主任介護支援専門員から昨年度から改定された介護保険制度の影響等についてお聞きしました。大沼施設長は、「4.48%の介護報酬の削減の影響が大きく、職員の待遇改善分を除けば、約1500から1600万円の減収となっている。特養の入所者が介護度3以上

となったが、介護度が2に下がる入所者も居て、家庭の事情等を踏まえ特例入所の手続きをしているが、この手続きを簡素化して欲しい」等と述べました。また、介護度1・2の方々の介護サービスの切捨てを行おうとしていることについて、「介護度1・2の高齢者は介護サービス利用の45%を占めており、介護事業が成り立たなくなるのではないかと懸念を示しました。

県議会

みなさ～ん！！

県議会を傍聴しませんか？

10月27日から県議会が始まります。今議会は千田美津子議員の一般質問が下記日程で行われます。この機会にみんなで傍聴してみませんか？

- と き：11月8日（火）正午出発
- 集合場所：Zプラザ・アテルイ
- バス代：1人2千円

申し込みは、24-2021（11/4締切り）